

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	01-01-11	戦略プラン	●協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	特別区全国連携プロジェクト	部課名	総務企画部総務企画課	課長名	大森		
		担当者名	木下・井出	内線	2191		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-07	特別区全国連携プロジェクト					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成 26年度		根拠				
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ●都基準内 ○区独自基準		計画区分		○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市					
	政策	09 伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02 国内・海外都市との交流の推進					
目的	連携自治体の地域振興に寄与しつつ、区内の賑わいを高めるとともに、区民が連携自治体を訪れる機会を拡大し、住民同士の交流を進める。						
対象者等	区民、全国の連携自治体						
内容	<p>東京を含む全国各地域が強い信頼関係の下、ともに発展・成長しながら共存共栄を図る為、それぞれの地域産業の振興や交流の促進を進めます。</p> <p>具体的には、交流都市フェアや荒川区職員ビジネスカレッジ等、様々な区の事業の活用、あらかわ遊園等の区有施設を活用したイベントの実施、日暮里マルシェを始めとした民間ベースの交流の促進、少年自然体験事業や中学校ワールドスクール、区民ツアー等、区民による交流の推進、荒川区制作広報番組（CATV・区HP）での自治体紹介、「幸せリーグ」加盟自治体との連携の充実等により、全国の自治体と連携を推進する。</p>						
経過	<p>平成26年9月 特別区長会にて、全国連携プロジェクト設立</p> <p>平成27年4月 荒川区制作広報番組（CATV・区HP）での自治体紹介（潮来市ほか6自治体）</p> <p>平成27年4月 あらかわ遊園「雪で遊ぼう」（岩手県北上市、西和賀町）</p> <p>平成27年4月 川の手荒川まつり（米沢市ほか24自治体）</p> <p>平成27年5月 東北六魂祭2015秋田（秋田市）</p> <p>平成27年10月 日暮里マルシェ（平成27年10月：釧路地域8自治体）（平成27年12月：福知山市）</p> <p>～平成28年3月（平成28年3月：鹿沼市）</p> <p>平成27年11月 日暮里秋まつり～交流都市フェア～（福島市ほか7自治体）</p> <p>平成28年4月 川の手荒川まつり（米沢市ほか24自治体）</p> <p>平成28年6月 あらかわ遊園「水辺フェスタ」（取手市ほか8自治体）</p> <p>平成28年6月 東北六魂祭2016青森（青森市）</p>						
必要性	全国の自治体と共存共栄を図りながら連携事業を推進していく事で、区民生活の向上と街の活性化が期待できる。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・事業実施に係る補助金交付申請を受け、事業計画及び予算等を審査し執行を委任する。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額								11,000
①決算額（28年度は見込み）						-	-	11,000
②人件費等								
③減価償却費								
【事務分担量】（%）								
合計（①+②+③）		0	0	0	0	0	0	11,000
特定財源	国							6,000
	都							
	その他							1,000
一般財源		0	0	0	0	0	0	4,000
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	連携事業実施数						9	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
						旅費	旅費	600
						需用費	消耗品費	2,000
						委託費	その他の委託料	8,400

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 連携事業数			9	12	15	
	② 連携自治体数			54	60	70	
	③ 連携事業への参加人数			160,500	170,000	180,000	

（問題点・課題分析）	本事業を切っ掛けに各地域に興味を持ち、区民が喜び、楽しめるような連携事業を検討していく。多くの自治体と連携を深めていく中で、相手自治体の希望する内容を区の事業や地域イベントをいかにマッチングさせ、win-winの関係を築いていくか検討していく。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	-	あらかわ遊園「雪で遊ぼう」では好評に伴い、雪の量が不足した。	前回のあらかわ遊園「雪で遊ぼう」では雪が不足したため、倍の雪の量を準備する。
②			全国の自治体と区が共存共栄できる連携を行っていく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	全国の自治体と共存共栄を図りながら、区民が住み続けられる「幸福実感都市あらかわ」実現のための事業として優先度は高い。

況議 （要 旨） 問 状	●H27年度2月会議 平成28年度開催予定の「釧路マルシェin日暮里」の釧路地域十自治体について ●H27年度2月会議 平成27年度開催「釧路マルシェin日暮里」の反響について
--------------------------	---

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-03	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	国内都市交流事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	榊
				内線	2522		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-01	国内都市交流事業					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		56年度	根拠	荒川区自然体験を通じた青少年健全育成活動事業補助金交付要綱		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画		○非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進				
目的	生活環境や地域文化の異なる地域の人々との交流を深めることにより、区民に豊かな自然とのふれあいの場を提供し、区民の心の豊かさと相互の町の活性化を図る。平成17年11月に策定した「荒川区都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、国内の都市との交流を積極的に推進することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現をめざす。						
対象者等	区民						
内容	H27年度の主な交流事業 ★：「27年度川の手荒川まつり」出展都市 ★秩父市：春まつり ★北杜市：北杜ふるさと祭りに出展者派遣 ★大多喜町：大多喜お城まつり参加（天王太鼓つくも会を派遣）★鴨川市：シーフェスタinKAMOGAWAIに参加、春まつり ★上越市：越後吉川酒まつりに出展者派遣、副区長出席 ★福島市：ミスピーチトップセールス来庁、荒川区民を対象としたツアー実施、秋・春まつり ★桑折町 ★石川町：伝統技術展・秋まつり他区内イベントに多数出展 ★村上市 ★釜石市：釜石冬の味覚まつりに出展者派遣、釜石市へ職員を派遣、秋まつり ★射水市：秋・春まつり出展 ★鮭川村：鮭の里親事業、春まつり ★三条市 ★福井県：水仙娘が来庁、手打ちそば教室実施、春まつり ★潮来市：春まつり ★二本松市 ★小野町 ★つくば市：まつりつくばに出展社派遣、梅娘区長表敬訪問、秋・春まつり ★津南町 ★大垣市：第37回荒川区産業展出展等 ★米沢市：春まつり ★広尾町 ★南アルプス市 ★佐渡市：あらかわ佐渡おけさ祭り、秋まつり 真室川町：秋・春まつり みなべ町：秋まつり						
経過	※交流開始順に記載、（ ）内は提携・協定締結年度 秩父市（旧荒川村）：S56姉妹提携、H7防災協定・21再調印 北杜市（旧高根町）：昭和58年 大多喜町：昭和60年（H7友好都市提携・防災協定） 鴨川市：昭和62年（H3友好都市提携・H7防災協定） 上越市（旧吉川町）：昭和62年（H7防災協定） 福島市：平成6年（H28年2月友好都市協定、H18防災協定） 桑折町：平成6年（H23防災協定） 石川町：平成6年（H8防災協定） 村上市（旧荒川町）：平成8年 釜石市：平成9年（H11防災協定） 射水市（旧下村）：平成11年（H26防災協定） 鮭川村：平成15年（H24防災協定） 三条市：平成15年 福井県：平成16年 潮来市：平成16年 つがる市：平成16年 二本松市（旧東和町）：平成17年 小野町：平成17年 つくば市：平成18年（H20年5月友好都市提携、H24防災協定） 津南町：平成19年 大垣市：平成19年（H23防災協定） 米沢市：平成20年（産業連携協定締結） 広尾町：平成21年 成田市：平成22年 印西市：平成22年 南アルプス市：平成24年 佐渡市：平成26年 真室川町：平成27年 みなべ町：平成27年						
必要性	国内の都市との交流を積極的に推進し、荒川区の魅力と活力を高めることにより、より豊かな区民生活の実現が期待できる。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 一般財団法人東京城北勤労者サービスセンターが実施している交流都市ツアーに対して、平成27年度まで補助金を支出。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額		2,136	1,427	9,832	1,471	1,272	1,976	4,392
①決算額（28年度は見込み）		1,601	837	9,741	1,194	1,155	1,612	4,392
②人件費等		4,360	6,098	5,535	7,485	5,021	3,078	
③減価償却費		1,453	2,239	2,162	3,042	2,113	1,365	
【事務分担量】（%）		50	72	67	90	65	40	
合計（①+②+③）		7,414	9,174	17,438	11,721	8,289	6,055	4,392
特定財源	国	0	0	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	7,414	9,174	17,438	11,721	8,289	6,055	4,392
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	交流都市数	25	25	26	26	28	29	29

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	まつりの出店経費	320	報償費	まつりの出展経費	256	報償費	まつりの出展経費	377
旅費	交流事業調整、まつり参加	152	旅費	交流事業調整、まつり参加	229	旅費	交流事業調整、まつり参加	289
需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	360	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	689	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	936
負担金補助等	交流事業補助	323	委託料	福島市友好都市協定締結式	83	委託料	国内都市訪問ツアー	2,200
			使用料等	福島市友好都市協定締結式	18	使用料等	バス借上げ	160
			負担金補助等	交流事業補助	338	負担金補助等	自然体験補助金	430

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 交流事業実施都市数	21	22	25	25	25	
	②						
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①全国連携の一環として、新たな地方都市とも連携した事業について検討を行う必要がある。 ②一般財団法人東京城北勤労者サービスセンターにおいて実施していた区民ツアーが平成27年度に終了するにあたり、代替の事業を企画検討する必要がある。						
	他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)					

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	各交流都市と区民相互にとってメリットの大きい交流内容を検討する。	商店街における交流都市の物産販売など、地域の活性化につながるイベントを実施した。	他課の事業においても積極的に交流都市のブースを誘致し、区民に交流都市の物産を提供する。
②	区民参加型のツアーや、区民同士の相互交流が可能な事業の実施に向けて、各都市と調整を行う。	福島市への区民ツアーを実施し、交流都市の魅力を区民にPRした。	訪問バスツアーなど、各都市の魅力を実感し、その後の交流に結びつくような事業を企画・検討する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高める。

況議 (要 会 質 問 状)	
-------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-04	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	国際交流協会補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	白石
							2524
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-03-01	国際交流協会補助					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成		5年度	根拠	荒川区国際交流協会補助金交付要綱		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等	設立趣意書		
実施基準	○法令基準内		○都基準内	●区独自基準	計画区分	○計画	●非計画
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進				
目的	区民の国際交流活動の拠点として国際交流事業を推進し、外国都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。（協会会則第3条）						
対象者等	荒川区国際交流協会 設立 平成5年10月21日 組織 理事12人、事務局5人（区職員兼務）、監事2人 会員 賛助会員（163名）、協力会員（536人） ※平成28年4月1日現在						
内容	≪荒川区国際交流協会の主な事業≫ ※（ ）内は開始年度 ○在住外国人支援事業 日本語教室（13年度：5～12年度では区事業）…年間132回（66回×2コース） ○国際理解・啓発事業 日本語サロン（10年度）…週1回×2コース、世界の料理教室（24年度）、広報宣伝活動…協会便り（年1回発行）事務局便り（月1回発行）、ライフサポートニュース（年1回発行）、産業展出版 ○区民相互の交流事業 川の手荒川まつり出展、日本語スピーチコンテスト（7年度）、外国人のための防災講座、国際交流バスハイク（6年度）、茶道教室（13年度）、華道教室（23年度） ○世界の国々との交流事業 ウィーン市ドナウシュタット区との交流事業、外国からのインターン大学生受入（17年度）、日澳親善コンサート（26年度）、ホームビジットの試行（26年度）、済州青少年国際フォーラムへの高校生派遣（26年度）						
経過	自主財源率（会費及び事業収入等）の推移 12年度までは総収入の15%程度、15年度以降は45%（補助金減、賛助会員や受益者負担の増による） 17年度は済州市、大連市中山区との友好都市提携に伴う、区補助金増のため38%となり、以後18年度41.8%、19年度37.2%、20年度32.7%、21年度36.7%、22年度37.6%、23年度31.7%、24年度37.7%、25年度は40.4%、26年度は36.7%、27年度は45.0%である。						
必要性	国際交流事業や在住外国人への支援、地域の外国人との交流を推進し、区民の国際理解を深めるとともに、多様な文化が共生できる地域社会を実現するため、団体への支援は不可欠である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 協会の派遣依頼により、地域文化スポーツ部長は事務局長、課長は事務局次長、都市交流係員は事務局員を兼職。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		6,147	5,147	6,147	6,147	6,147	6,147
①決算額（28年度は見込み）		4,950	3,343	4,636	4,005	5,727	4,532	6,636
②人件費等		11,336	11,010	10,739	10,812	9,656	10,005	
③減価償却費			4,043	4,195	4,394	4,064	4,437	
【事務分担当量】（%）		1	1	1	130	125	130	
合計（①+②+③）		16,286	18,396	19,570	19,211	19,447	18,974	6,636
特定財源	国	0	0	0	0	0		
	都	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	16,286	18,396	19,570	19,211	19,447	18,974	6,636
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	協力会員（人数）	428	502	584	581	525	536	500
	賛助会員（件数：団体+個人）	129	94	115	114	208	163	170
	補助金の協会事業に占める割合（%）	62.4	68.3	62.3	59.5	63.3	55.0	55.0

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	国際交流協会補助	5,727	負担金補助等	国際交流協会補助	4,532	負担金補助等	国際交流協会補助	6,636

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 協力会員・賛助会員数	695	733	699	670	670	個人+団体数
	② 協会事業参加者数	3,322	3,698	4,022	4,000	4,000	日本語教室等は延べ人数
	③						

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> 外国人住民の増加に伴い、日本語教室や日本語サロンへの参加者数が増加している。これらの教室・サロンの運営を支えるボランティア活動を行う会員を増やす必要がある。 協力会員のうち、近年ボランティア活動から遠ざかっている会員がいるため、活動の意思確認と再活動に向けた働きかけを行う必要がある。
	他区の実況 （実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区） 国際交流設置自治体※東京都国際交流委員会HPより

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	協会HP及びブログ、SNS等活用により情報発信を行い、事業への参加者や協力会員を獲得する。	協会の活動の活動について、区報や協会HPなどの媒体を通して、情報発信を行った。SNSの活用については改善が必要である。	フェイスブック等SNSの活用や中高年層への情報発信等により、ボランティア活動を行う人材を発掘し、育成講座を実施する。
②	協力会員登録者への協会事業のPRを行い、協会事業への参加やボランティア活動につなげる。	協会だよりや事務局だよりの発送により協会事業の情報提供と活動の呼びかけを行ったが、会員継続についての意思確認が必要である。	協力会員に対して、活動への参加促進を行う。また、現ボランティアに対するフォローを行い、活動を促進する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として区が重点的に支援することが必要である。

況議 （要 旨） 会 質 問 状	
------------------------------------	--

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	国際交流推進員報酬	9,084	報酬	国際交流推進員報酬	9,507	報酬	国際交流推進員報酬	9,656
共済費	国際交流推進員社会保険料	1,309	共催費	国際交流推進員社会保障費	1,354	共催費	国際交流推進員社会保障費	1,385
旅費	交流都市訪問等	1,261	旅費	交流都市訪問等	1,970	旅費	交流都市訪問等	7,864
需用費	交流都市等訪問団受入賄い等	16	需用費	交流都市訪問団受入時賄い等	408	需用費	交流都市訪問団受入時賄い等	808
役務費	交流都市訪問時入出国税等	22	役務費	交流都市訪問時入出国税等	48	役務費	交流都市訪問時入出国税等	262
			その他使用料及び賃借料	交流都市訪問時携帯電話レンタル料	5	その他委託料	ウィーン荒川展委託	10,082
						その他補助金	民間団体等に対する国際交流補助金	8,685

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 訪問回数	2	4	6	10	10	荒川区⇒海外都市
	② 受入回数	7	7	12	7	7	海外都市⇒荒川区
	③						

（問題点・課題 指標分析）	友好交流都市であるウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連市中山区との交流について、広く区民に交流実績及び交流意義をPRしながら継続的な交流しつつ、民間交流を拡大していく必要がある。また、平成28年度は、提携開始から節目の年を迎えるため（済州市・中山区10周年、ドナウシュタット区20周年）、記念式典等を実施する。					
	他区の実況	（実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区）				

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	民間交流の拡大のため、引き続き効果的なPRを行い、交流都市への訪問者数の増加を図る。	済州市と日本の少年サッカー交流試合を行うことで、民間交流充実を図った。イベント時の各都市のパンフレット配付により交流促進した。	済州市での少年サッカー交流試合や、済州市やドナウシュタット区への区民ツアーなど民間交流事業の支援を行う。
②	平成28年度は各交流都市との提携開始から節目の年を迎えることから、記念事業の実施を検討する。	平成28年度に記念事業を実施するにあたり、各交流都市担当者との打合せや会場の事前視察等の万全の準備を行った。	各交流都市との友好交流を区民にPRし、今後もさらに発展させるよう、訪問団の派遣・受入など記念事業を実施する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業である。

況議 （要 旨） 会 質 問 状	
------------------------------------	--

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	団体出演報償費	132	報償費	団体出演報償費	132	報償費	団体出演報償費	144
旅費	職員旅費	29	旅費	職員旅費	2	旅費	職員旅費	38
需用費	食糧費・土産	33	需用費	食糧費・土産	29	需用費	食糧費・土産	66
役務費	交通費・保険料	17	使用料等	バス借上げ・宿泊料	611	役務費	交通費・保険	16
使用料等	バス借上げ・宿泊料	252				使用料等	バス借上げ・宿泊料	1,085

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 訪問都市数	3	3	3	3	3	キャラバン隊が訪問する交流都市の数
	②						
	③						

（問題点・課題分析）	①キャラバン隊として、区を代表して活動を行う新たな団体の発掘をACCと協力して行っていく必要がある。 ②派遣先となる交流都市について、受入可能な都市を広く募っていく必要がある。
	他区の実況 （実施 0 区 未実施 0 区 不明 22 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ACCと協力し、引き続き新たに荒川区から派遣する団体の発掘・選出を行う。	ACCから適当な団体についてヒアリングを実施した。	訪問先交流都市や参加する先方の事業内容の適した団体を引き続き発掘・派遣する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	芸術文化面で区を代表する個人・団体を交流都市に派遣し、交流促進とともに芸術文化振興を図る。

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--